

全固体電池における安定界面の設計 ～固体イオニクスに基づく検討～

主催：大阪公立大学全固体電池研究所

共催：粉体工学会電池製造プロセスに関するワークショップ

開催日

2024年

1月15日 (月) 14:00～15:30
受付開始13:30～

講師 雨澤 浩史 教授

(東北大学 多元物質科学研究所)



全固体電池に用いられるリチウムイオン伝導性固体電解質の多くでは、正極・負極双方の電位に耐えられるほど、電位窓が広くないことが指摘されている。そのため、全固体電池を安定に動作させるには、電極との界面に“保護層”を挿入するなどして、電解質を安定化させる必要がある。実際、全固体電池では、酸化物などがコーティングされた電極活物質を用いられることが多いが、このコーティング層の少なくとも一つの役割は電解質保護にあると考えられる。しかし、そのような保護層として、どのような特性を持つ材料を、どのくらいの厚みで用いるべきか、等については、未だ明確な設計指針はない。本講演では、電解質と電極活物質の熱力学的両立性という観点から、保護層に求められる特性や条件についての考え方を紹介する。

事前申し込み
参加無料

Zoomによる
ハイブリッド開催

申込締切

2024年1月12日(金)

参加申込フォーム

<https://forms.gle/L2kSEaiGuq9Pj5zk8>



会場 大阪公立大学 I-siteなんば

大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル2階

Zoom ミーティングID 953 9984 5745 パスワード 611344

お問い合わせ

大阪公立大学 全固体電池研究所 (学術共同研究拠点事務局)

Mail: gr-knky-assb@omu.ac.jp Tel:072-254-8327

